

フォワーディング事業

ロジスティードグループのグローバルネットワークを駆使し、船舶・航空機・トラック・鉄道など、さまざまな手段をシームレスにつなぎ合わせ、お客様に最適な輸送サービスを提供しています。

フォワーディングと3PL・重量機工を融合した一貫物流サービスから、貿易事務代行、貿易協定に関するコンサルティングなどの専門性の高い業務まで、お客様の幅広い国際輸送ニーズにお応えしています。

2022年度の実績

■ 売上収益(概算値)：

1,728億円

■ フォワーディング取り扱い物量実績(概算値)：

海上輸送 **424千TEU*** 航空輸送 **142千トン**

地域別事業概要

※ロゴは主要なフォワーディング事業会社を表す

欧州
海上 39千TEU LOGISTEED
航空 13千トン cfi

主要輸送取り扱い品
日本向け：自動車部品、電機・電子部品
中国向け：衛生用品、電機・電子部品
アジア・北米向け：食料品、繊維製品

アジア
海上 171千TEU LOGISTEED
航空 29千トン FLYJAC

主要輸送取り扱い品
日本・中国・欧州向け：電機・電子部品、自動車部品、家具・家庭用品
アジア域内：電機・電子部品、衛生用品、食料品
北米向け：自動車部品、家具・家庭用品

日本
海上 94千TEU LOGISTEED
航空 50千トン

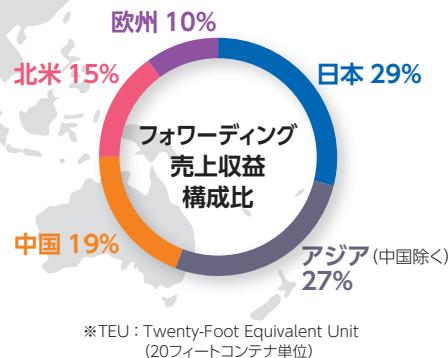
主要輸送取り扱い品
中国・アジア向け：衛生用品、電機・電子部品
北米・欧州向け：自動車部品、電機・電子部品

北米
海上 36千TEU LOGISTEED
航空 11千トン ANTEC

主要輸送取り扱い品
日本・アジア向け：食料品、自動車部品
中国・欧州向け：衛生用品、自動車部品

中国
海上 85千TEU LOGISTEED
航空 39千トン JTB

主要輸送取り扱い品
日本向け：電機・電子部品
アジア向け：電機・電子部品、食料品、繊維製品
北米・欧州向け：自動車部品、電機・電子部品、家具・家庭用品



フォワーディング事業にとって地政学的リスクなどがある中で、当社グループの競争優位性であるDXを活用した、グローバルサプライチェーンの見える化システムを用いて、海外に広がる474の事業拠点を活用し、拠点間の輸送および各拠点で特色のある機能を提供していきます。引き続き、国際輸送の平準化・サプライチェーンの脆弱性への対応など社会の課題やニーズに取り組みます。

中期経営計画LOGISTEED2024の重点取り組み事例

協創パートナーとの連携強化に向けた取り組み

協創パートナーとの連携を強化し、サービスの拡充およびネットワークの拡大に取り組んでいます。(株) エーアイティーとは、両社の優位性を活かした協創活動をさらに推進し、トップラインを拡大していきます。また、ロジスティードKWE(株)の事業活動を通じて、(株)近鉄エクスプレスとフォワーディングでの協創のみならず、3PL・重量機工を組み合わせた付加価値の高いサービスを提供していきます。



医薬品物流のネットワーク強化に向けた取り組み

2022年6月に関西国際空港、2023年1月に香港にてCEIV Pharma認証を取得しました(→P25)。2022年12月には医薬品の輸送とネットワークに強みを持つオランダに本社を置くCyber Freight International Holding社の全株を取得し医薬品物流のネットワーク強化を図りました。



Cyber Freight International Holding社
(ロジスティード株100%子会社)
・オランダに本社を置き総合物流事業を展開
→P25 →P53

グループ会社社長メッセージ

お客様のサプライチェーンがさまざまな世界情勢の変化で見直されていく中、最適なフォワーディングサービスを提供する役割を担う当社としては、常に最新の情報を収集し、さまざまな製品を世界中に運ぶことのできるネットワークの拡充とDXを着実に推進しています。より付加価値の高いフォワーディングサービスを提供することで、お客様のグローバルな事業活動を支え続けていきます。

黒梅 裕一
ロジスティードエクスプレス(株)
代表取締役社長



重量機工事業

1950年の創業以来、電力プラント、産業機械、鉄道車両をはじめとする重量品から、繊細な取り扱いを必要とする精密機械、医療機器等まで、国内外を問わず出荷から輸送・据付までの一貫物流サービスを提供することで、社会や産業の基盤を支えるとともに、輸送技術の研鑽に努めてきました。お客様の多様なニーズにお応えするため、これまで蓄積した経験とノウハウを活かしたトータルロジスティクスソリューションを提供し、社会の発展に貢献していきます。

2022年度の実績

■ 売上収益(概算値) 開示セグメントの国内物流、国際物流の内数

385億円(前年度比 +16億円)

2022年度トピックス

- 日本向け洋上風車輸送作業の実施
- 米国、豪州向け電力プラント一貫輸送作業の実施
- 東南アジア・中南米向け鉄道車両輸送の実施(継続中)
- 大型機工案件
 - ・物流倉庫向けマテハン設備輸送作業の実施
 - ・地下鉄駅ホーム柵輸送・据付作業の実施
 - ・工場移設作業の実施

顧客の事業編成、環境変化に伴う市場縮小のリスクがある中、脱炭素社会の実現に向けた社会インフラの整備などの社会的ニーズが高まっています。当社グループの競争優位性である、豊富なエンジニアリング人材・自家アセット・グローバルネットワークを活用し、計画から輸送、搬入、据付までの一貫作業をグローバルで提供します。



中期経営計画LOGISTEED2024の重点取り組み事例

半導体新工場建設工事関連への取り組み



2022年度実績

工場建設資材の調達輸送、建設資材用倉庫の運営や建設現場へのJIT輸送を実施しました。さらに、2024年の工場稼働後もお客様のニーズに徹底的に応えていきます。

風力発電建設工事関連への取り組み



国内風力発電案件においては、巨大構造物の海上輸入作業から国内輸送および据付までワンストップでサービスを提供することができます。脱炭素社会に向けた取り組みの拡大をめざすとともに、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

担当役員メッセージ

2016年に重量機工本部が発足してから6年が経過し、当社の事業を取り巻く環境は世界的に大きく変わりました。お客様の大切な製品を安全、確実に運ぶことを最重要使命としています。そして、真にお客様に喜んでいただけるような付加価値サービスの創造と提供に向けて、2023年4月に重量機工本部を営業開発本部と統合しました。当社の3PL事業およびフォワーディング事業との融合を図り、付加価値の高いサービスを提供することで、お客様の事業拡大のサポートと社会への貢献に努めていきます。

林 大介
営業統括本部
営業開発本部
副本部長

